

中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町納税貯蓄組合連合会優秀賞』

私たちが納めている税金

津南町立 津南中学校 3年
石 沢 愛 夏

私は今まで税金についてあまり考えたことがなかったので、よく理解していませんでした。お買い物をした際、払わなければならない消費税の他にもいろいろなものに税金がかかっている、税金を納めることは本当に必要なのかと疑問に思っていました。

なので、私は税金について調べてみることにしました。私たちが払っている税金は学校や公園、公共施設、道路など私たちが当たり前に使っている場所や物に、たくさん使われています。その他にも、病気になってしまった人や老人の方など、場所や物だけではなく人にも税金がかかっていることが分かりました。

私はその中でも、学校にかかっている税金についてもっと知りたいと思いました。学校には、机、イス、黒板や教科書、電気、水道にまで税金がかかっています。私は税金を身近に感じたことがありませんでしたが、何気なく使っていたものは、全部税金に支えてもらっていることが分かりました。私たちが、毎日楽しく学校生活を送れているのは税金のおかげなのです。

たくさん税金によって支えられている私たちの生活は、税金を払わなくなると公園や公共施設が有料になったり、学校で使っている物は自分たちで払わなければいけなくなるので、負担も大きくなってしまいます。

私は、この作文を通して学んだことは二つあります。

一つ目は、税金を払っているから当たり前な毎日があるということです。何気なく使っているもの、場所は税金が支えています。私は、これから今の環境に感謝し、生活していきたいと思いました。

二つ目は、税金でたくさんの方が助けられていることです。税金がなくなってしまうと私たちの生活が苦しくなります。病気になってしまった人や老人の方を支えるためには税金が必要です。

毎日の暮らしでは気づかないけれど、私たちに当たり前の毎日を与えてくれています。

私は税金について、もっとたくさんの人に知ってほしいと思いました。

税金を納めている一人として、未来の私たちの生活を一緒に支えていきませんか？